

第4回 豊岡市社会教育基本計画策定委員会 会議録

- 1 日 時 2024年3月4日（月）午前9時30分開会 12時閉会
- 2 場 所 豊岡市役所立野庁舎1階 多目的ホール
- 3 出席者 委員8名
清國祐二委員長、太田博章副委員長、河本純子委員、古林京子委員、
西田清委員、宮田索委員、小松和巳委員、木村尚子委員
※欠席委員 山本朋子委員、小川綾子委員
教育次長、社会教育課長、社会教育課社会教育係長
- 4 議 事 (1) 協議事項
ア 豊岡市社会教育基本計画（案）について

会議録（要点記録）

注）この会議録は、発言内容を一言一句正確に記録したものではありません。発言内容をもとに一部表現（文言）を変えて表記している箇所があります。

1 開会	
2 委員長あいさつ	
3 議事 (1) 協議事項	
議長	それでは議事に入ります。 議事(1)協議事項 豊岡市社会教育基本計画（案）について、目次と第1章について事務局より説明をお願いします。
事務局	《事務局説明》 資料1「豊岡市社会教育基本計画（案）」目次・第1章について
議長	前回の会議で示されました「素案」から大きな変更点はありませんが、2ページ「社会教育の定義」中段に、社会教育行政の役割が追加されています。 事務局との事前協議の中で、生涯学習社会という大きなものがあり、社会教育・学校教育・家庭教育を含む図を示せたらという意見がありましたが、ぴったり当てはまるものがなく保留にしています。 14ページ「第3章 基本理念」で、社会教育の考え方を示していますので、社会教育の定義についてはこれにとどめています。
委員	3ページ「計画の位置づけ」図は、関連諸計画と連携ということで上下がなさそうですが、今すでに策定されている計画は仕方がないとして、次にそれぞれが計画を策定するときには、この計画を参照するというような保証や、しっかりした位置づけがいないのでしょうか。
事務局	19ページ「期待される役割」の冒頭に、「基本方針に沿った施策や取組を行うとともに、関連諸計画等の策定（改訂）を行う」と記載しており、この理念を指針として取り入れてもらうこととしています。この内容を「計画の位置づけ」にも記載するほうがいいでしょうか。
委員	そのことが保証されるようにするために記載したほうがいいと思います。
議長	3ページ「計画の位置づけ」に記載するのがいいでしょうか。
委員	3ページの「関連施策を実施する際の指針」だけでなく、「計画を策定するときにも指針にして」ということを入れるくらいがいいです。
委員	3ページ「位置づけ図」で、関連諸計画の上に、社会教育基本計画を持ってきたらいいのでは。
事務局	これまでにその案はお示しました。前回の会議でもご意見をいただき、上下ではなく横の配置で連携する、ということでこの位置づけ図になっています。
委員	本来は、この社会教育基本計画が上位にあるものですが、他の関連諸計画が先行し策定されているので、上位計画にするのは難しいかなと理解しています。4ページ「計画の期間」で、「計画は5か年計画とし、庁内の連携体制の強化を行う」とありますので、5年経過したとき、次は上位計画として位置づけられたらいいと思います。
議長	その他ご意見等ございますでしょうか。

委員	(意見なし)
議長	続いて、第2章について、事務局より説明をお願いします。
事務局	《事務局説明》 資料1「豊岡市社会教育基本計画(案)」第2章について
議長	6ページ「グローバル化の進展」のタイトルについて、事務局から皆様のご意見をということですが、そのあたりも含めていかがでしょうか。
委員	6ページ「デジタル化の進展」についてですが、1ページ「策定の趣旨」では、「インターネットの普及」とあり、6ページ「デジタル化の進展」では、インターネットについては触れられておらず、「SNSを活用」とSNSが重視されているような印象を受けます。SNSでの検索は生活に密着したところでは有効な手段かと思いますが、いろんなことを深く検索するのはインターネットのほうがふさわしいのではと個人的には思いますので、インターネットを入れていただいたほうがいいと思います。他の委員の皆さんのご意見をお伺いしたいです。
議長	いろんな世代を網羅した計画と考えると、SNSという限定の仕方がどうだろうかというご意見がありました。いかがでしょうか。
委員	確かに、SNSに限定してしまっているように見受けられます。第1章では「インターネット」とあり、そこを「SNS等」とするか、6ページ「SNS」を「インターネット」とするか、限定することによって違った偏った受け取り方をされる可能性がありますので少し修正が必要かと思います。
議長	概念的には、インターネットが広く、その中のSNSですので、インターネットでカバーできます。インターネットに合わせるほうが広く受け取れるのでいいのではないのでしょうか。
委員	SNSは、これからどんどん広がっていくと思いますので、SNSは入れておくほうがいいと思いますが、もっと大きなインターネットも6ページ「デジタル化の進展」に入れておくほうがいいのではと思いました。
議長	6ページ「グローバル化の進展」というタイトルはいかがでしょうか。
委員	内容は、多様性、外国籍の方の増加について触れられていて、タイトルは「グローバル化」となっていますが、いかがでしょうか。
議長	横文字がいいかどうかわかりませんが「ダイバーシティ」か、「多様化」でもいいと思います。
委員	「多様性」はここ数年キーワードになっていますが、いかがでしょうか。
議長	「ダイバーシティ」がと思いますが、「ダイバーシティ」という言葉がどこまで浸透している言葉なのかわかりません。
委員	知っている人は知っているが、知らない人は知らない。ちょっと気になって調べると分かるというくらいでしょうか。
議長	ここの表記については、こちらに一任いただきたいと思います。 その他いかがでしょうか。
委員	14ページ「第3章 基本理念・基本方針」で、こうあるべきという話が出てきていません。社会教育の必要性の高まりはありますが、どういう人材、地域に何が必要なのか、そういう話が出てきていません。
議長	13ページ「社会教育の課題」に関連して、14ページ以降「基本理念・基本方針」があります。具体的にどのような人材が豊岡市で求められているのかについて、もう少しあってもいいというご意見でしょうか。

委員	<p>例えば、9ページ「基本構想」があって、「④多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風」とありますが、これは何もしなくても出てくるものなのか、こういうことがいいんだというか、そういう考えの人がいなくなったらこんなことは実現できません。人口減少のことだけが書いてありますが、実際には人口減少や高齢化だけでこういうことになっているのかと言うとそれだけではないです。みんながバラバラで、自分の家さえ良かったらいいという社会になっています。国のほうには何となく書いてありますが、豊岡市の現状はどうなのかわからない。命への共感をうたうなら「こういう教育が必要」、「こういうつながりを大事にするようなものが必要」といったものがどこかにあってもいいと思います。</p>
議長	<p>個別計画との関わりで言うと、個別計画（関連諸計画）にはそういう人材像はもっと明確に示されていると思います。</p>
委員	<p>これから、この計画を参照して個別計画を作ってもらわないといけないんですね。</p>
議長	<p>考え方としては、ここに理念があって、それに基づいて個別計画では、より具体的にそれぞれに必要な人材像のようなものがあります。それらを大きく言うと「自分づくり」「生きがいつくり」「つながりづくり」「まちづくり」の中に、常に精神的なものはつながっているという感じかと思っています。</p> <p>委員がおっしゃるように、理念であれば求める人材をもう少し打ち出していくのも一つの方法かとは思いますが、ここに具体的に書くというイメージが持ちづらかったので、事前協議の中ではあえて取り上げていません。</p>
委員	<p>思想・信条のようなものも絡んできますので書きづらいことだと思いますが、第2章で少し深めに何か分析しておくとか。</p>
議長	<p>理念的なもので絡めるとすれば、貢献意識をどう高めていくかですかね。具体は言いませんが、自分の殻の中だけではなく、社会との、地域とのつながりの中で貢献意識を持ってもらうような、そういうことは書き込めるかなと思っています。</p>
委員	<p>「自分づくり」から始まって、自分の好きなことをやっていて、それで貢献につながることは多々あると思いますが、学ぶ気がない人、つながる気がない人はどうやって行くのか。包摂して欲しくないという人もいますと思いますが、つながっていきましようというよな、そういうことをここできちんと書いておかないと。</p>
議長	<p>センシティブな部分かと思いつつ伺っています。皆様いかがでしょうか。</p>
委員	<p>バラバラというのは、少し前なら個人主義的な、そういうものだけでしたが、最近では、経済的な余裕がないとか、今まで60歳で定年になったら元気で暇なお年寄りの手前の人たちが担い手になっていたと思います。そういう人たちがほとんど65、70歳まで働いています。実際問題、担える可能性のある人が少なくなっています。そんなことも最近の大きな変化だと思います。でもやっぱり担い手は必要ですし、そこを押し立てて頑張っていこうというようなものがあってもいいのではないかと思います。</p>
議長	<p>現に、この問題は深刻に受け止めているところもありまして、健康寿命で言うと男性は72歳くらい、女性は75歳くらいが平均値です。65歳までは70、80%くらいの方が働いていて、65歳以上でも50%くらい、70代でも30%を超える方が働いています。そんな現状の中で、健康寿命から考えると社会に貢献する時間が無くなっています。支えてきた世代が働くということを社会としてどう捉えるかというのは、深刻だという指摘もご指摘の通りだと思います。仕事の世界と地域活動の二つを持って、それぞれが生きるような時代にならないと地域がもたないというのはまさにおっしゃる通りだと思いますが、それをこの中に書き込むかどうか、書き込めるのかどうかという</p>

	のはまた微妙なところだと思います。
委員	書くとしたら7ページ「人口・世帯の状況」のところかと思います。
委員	例えば、13ページ「社会教育の課題」ウの下に、エを加え「人の意識が個人主義的なところに向かっていて社会全体を良くしようという意識が失われている」というようなことを入れたらどうでしょうか。
議長	「失われている」という表現は少しきつい感じがしますので、少し前向きな表現ですね。
委員	社会教育を進めていこうと思うと、個人主義的なことがあると障害になるので、社会教育として進めていく上での課題として少し書き込んでいただけたらありがたいです。
議長	13ページ「社会教育の課題」に、現状を踏まえて、もっとつながって地域を支える視点、貢献する視点を持っていく必要がある、それを後押しするところに社会教育があるという感じでしょうか。
委員	障害者福祉計画や人権教育も入っていますが、社会的包摂が必要とか、これを参照して出てくるのでしょうか。国のところにはちらっと書いてありますが、割と「自分」「自分」というのが全体にあって「社会で支え合う、そういう意識を醸成していく必要がある」というものがあるほうがいいと思いました。
議長	人権教育については、この後の20ページ以降「具体的な取組」で、個別に触れているところがありますので、そこをご覧いただければと思います。
委員	7ページ「人口・世帯の状況」の人口ピラミッドの図について、2010年と2040年の比較になっていますが、「現状」ですので2010年より2020年との比較のほうがいいのではないのでしょうか。人口推移の図は2050年まであって、そのあたりの統一と現状が分かるほうがいいのではないのでしょうか。
議長	現状ですので、比較するところは現代を軸にしてということですね。
委員	本文で、2010年の人口と比較しているのです、図は2010年に合わせているのでしょうか。
事務局	本文で、人口を2010年と2020年で比較していますので、人口ピラミッド図は2010年にしています。人口推計は2050年まで出ていますので2050年まで掲載しています。いただきましたご意見を踏まえて、人口ピラミッド図は、2010年と2050年との比較とし、2020年も掲載するかは紙面配置等の関係がありますので調整します。また、本文の推計人口は2040年を2050年に変更します。
議長	2040年というのは、日本創生会議が出した一つの節目として示されています。この計画では2050年に照準を合わせるのであれば、それは特に問題ないと思います。20年間で25%も人口が減少するのは、数字を見せられると驚きます。 それでは、人口ピラミッド図は2050年に修正をお願いします。
議長	先ほど委員からご指摘があった、11ページ「地域コミュニティの現状」の最後の表現「人口流出による人口減少や、少子高齢化が地域コミュニティの担い手不足を招き」となっていますが、それだけが要因ではないということですが、いかがでしょうか。
委員	無関心が一番多いですね。
議長	どのような書き方にするかですね。
事務局	無関心になっていると断言していいのか、根拠はあるのかというところがあります

	すので、書き方は検討させていただきます。
議長	続いて、第3章について、事務局より説明をお願いします。
事務局	《事務局説明》 資料1「豊岡市社会教育基本計画（案）」第3章について
議長	この章が基本理念になります。先ほどありましたが、他の関連諸計画の改訂、見直し時に参照いただく内容になり、一番大事な部分となります。皆様のご意見をお聞かせください。
委員	18ページ「基本方針4」の「めざす姿」に「行政の垣根を越えて創出する」とありますが、ここのところは理解ができませんでした。一般的に「行政の垣根を越える」とは、他の市でもやっていて、その垣根を取り払って越えてやりましょうとか、県と一緒にとか、行政同士のつながりを無くしてというのが「行政の垣根を越えて」という一般的な使い方だと思います。ここの文面ではそういう意味ではないような気がします。どういう意図でこういう表現になっているのでしょうか。行政と民間とのこだわりを無くすという意味ですか。
議長	「行政の垣根」ではなく「行政との垣根」です。主体がたくさんあって、18ページ「現状と課題」の「多様な主体と連携すること」とあって、それを受けてということ。行政が、民間が、個人がということではないという意味です。表現を修正します。
委員	15ページ「自分づくり」、ここが学びの出発点になりますが、興味関心が動機付けとか、主体的にとか、自分に合ったとか、自分がやりたいことをやるということがすごく強調されています。そうではないところでどうやって働きかけるのかということが全然見えてきません。図書館未来プラン策定時に、アメリカの図書館の事例として、貧困にさらされている人たちに知識とかいろいろ持っていただくとか、手続きができない方をサポートするようなことを図書館が担っていたりするというところをおっしゃっていました。そういうことは誰がするんだろう、福祉だけがするのか。福祉の狭間にいる人たちが今たくさんいます。サポートを受けるほどではないけれど、自分の困り感を意識していないかもしれませんが、もう少し学ぶとか、サポートして人生を豊かにして行けそうだなという、そういうところのサポートを誰がするのか。個人の興味関心を出発点としてと、すごく強調されていて関心のない人は学ばなくてもいいというように受け取れるのではないかなと思います。すべての人がいろんなことを学び続けることで、自分の生活を豊かにして行けるというような、そういうような雰囲気が出るというと思っています。誰がするのかは別にして、誰かが担った方がいいとか、そういうことが大切だというような話はここ、社会教育でしか、社会教育でこそ書いて欲しいと思います。
議長	この基本方針「自分づくり」は、多分に、生涯学習を意識した書きぶりだと思います。ですので、関心とか主体的にとかが強調されていて、社会的弱者、日本語が話せない外国人の方々も含めて、そういう方々のケア、学習権の保障、そういう視点観点、意欲・意思のある人たちだけが社会教育で拾われて、こぼれ落ちた人には何も目を向けないのかということですね。
委員	こういう人たちが意欲を持って学んで、まちづくりの中心になっていただく、そういうのはイメージできます。すべての人がという感じにはならなくていいのかと。
委員	社会教育というのは、定義されているように学校教育を終えた後の全体の人生を指すものです。もう少し言えば、組織的などということになりますが、団体の中とか、

	<p>組織が人を支えるとか、人が組織されるとかというイメージが根底にある方もあると思います。そもそも学校で学ばず、学校を経験せずというような方など、今いろんな方がいらっしゃると思いますが、学校を終えた後は自分がやろうと思った時が学ぶ時という思いがあります。しかし、おっしゃるとおり、みんながみんなそう思うわけではないので、そういう人たちに関心を持ってもらう土壌づくりは、社会として必要だとは思っています。多様な面で見たとときに、自分が何かやりたいなと思った時に何かやる場所があったり、手伝ってくれる人がいたりという環境を作っておくことが大事なのかなと思っています。それを行政に特別な部署としてなければ、社会教育の組織が場づくりをしたりサポートするようなことが大事になってくると思います。自分が必ず興味関心を持って常に自主的である必要があるとは思ってなくて、例えば、60歳になったときに、何かやってみたいなと、いろんな人が自分のペースで何かやりたいと思えるような土壌と、思った時にそういう場所があるということ、あくまで自分が主体で、自分が主役で主人公で「自分づくり」というのは最初にあって、4つの基本方針が補完し合いながら進めていくことになると思います。「主体的」という表現は上からのような言い方に感じます。</p>
委員	<p>今日、他の委員の意見を聞いて、非常に個人に寄りすぎているのではないかという気がしてきました。生涯学習ということであれば個人に寄ってもいいと思いますが、社会教育という、もっと大きなところから言うと、人権教育なら、差別はいけません、平等にとか、行政なりが社会教育の理念として伝えていかなければいけない。委員がおっしゃったように勉強したくない人にもある程度、勉強したほうがいいですと進めていく、底上げしていくようなところ、おそらく行政がすることになると思いますが、それも社会教育の一環ではないかという思いがしました。個人個人に寄りすぎていると。社会教育基本計画の中で行政が担うべき、人権教育とか、勉強したくない人にも勉強してというような意欲を高めるような活動も計画の中に入っているほうがいいのではないかという気がしました。具体的にどうしたらいいかはわかりませんが。</p>
議長	<p>基本方針の中に書き込めるかどうかわかりませんが、大きな社会教育行政として考えたときに、表現は考えますが、学習権保障というか、学びたくないではなく学ぶことから離れているが故に、学ぶ意義がわからないというような、できないことができるようになるというのは人にとってかけがえのないことですので、その部分をどこに記載するか、この「自分づくり」のところに入れると少し違和感が出てしまうような気がします。</p>
委員	<p>19ページ「第4章 期待される役割」の行政の役割に、「意欲を高める」というような記載をしたらどうでしょうか。</p>
委員	<p>人権セミナーとか、毎年あちこちであります、聞きたいと思っていく人はあまりいないと思います。割り当てで行く方もありますが、それでも聞いてもらった、それを知った人がまちに増える、まちにとって意義があるので、そういうことかなと理解するようになりました。できるだけいろんな方が聞いてくれたらいいと思います。その裏付けとしてこの計画に書いておかないと思います。</p>
議長	<p>19ページ「第4章 施策の展開」に書き込むかどうかですね。これまでのお話を伺いながら、国でも、セーフティネット (safety net) というところで、誰も取り残さない、ということは取り残されている人がいるということですので、セーフティネットの機能を行政も持って、届かない人などそういう方々に対して、忘れずに持ち続けますというようなことを14ページ「基本理念」あたりに、理念に近い形で書き込むの</p>

	<p>がよいのかなと思っています。施策の中で具体になると、今の段階ではどんな施策で書き込めるのかイメージがわきませんので、14ページ「基本理念」あたりにセーフティネットと絡めて書き込むことを少し検討したいと思います。</p>
委員	<p>セーフティネットというと、昔だと一部の方のためのという感じだったと思いますが、今となつては、ぎりぎりの方もたくさんいらっちゃって、いつ誰がそのお世話になるかわからない。生活保護や経済的なことだけじゃなく、いろんな面でみんなを支えていく必要があつて、そのためにはある程度教育しておかないと。自己責任だけではなく、社会的包摂とか、そういう意識を持ってもらうために日ごろからある程度学習していただくとか、そこは社会教育の役割な気がします。</p>
委員	<p>14ページ「基本理念」の最終段落「社会教育行政の役割」に、「住民意識の向上、意欲を高める」という文言を入れたらどうでしょうか。</p>
議長	<p>「行政として啓発をしっかりとやっていきます」というような書きぶりになるのかなと思います。具体的に、個別に手を差し伸べるということよりは、まずは、重要性を啓発していくという感じですね。</p>
委員	<p>15ページ以降の「基本方針」の中の「施策」の書き方・語尾ですが、「支援します」「環境を整えます」「図ります」と表現されていますが、この書き方の決まりはありますか。15ページ「社会教育施設等は利用しやすい環境を整えます」は、施設については行政の責任で整えます、ということは分かりますが、16ページ「学びや活動に参加できる環境を整えます」は、「環境を整える」としてしまうと、社会教育行政がすべてやらなければならない、整えなければならない。「整える」は言い過ぎではないかと思いますが、いかがでしょうか。</p>
議長	<p>行政の範囲を超えて「整えます」ということが書いてあるということでしょうか。</p>
委員	<p>「参加できる環境を整えます」と言い切っていますが、具体的に行政は何をするのか、施設なら整備できますが。例えば「環境の整備に努める」というような表現に整理をしておく方がいいのではないかと思います。</p>
委員	<p>行政のできる範囲を書くほうがいいですね。</p>
委員	<p>関連諸計画でもこの施策を具体的にやっていくということですね。</p>
事務局	<p>この施策については、社会教育課だけでなく、各課でも行っていきます。例えば、情報発信や機会を持つなどは、各課でも行っていくことになります。 表現については、ご意見を参考に調整させていただきます。</p>
委員	<p>基本理念、基本方針はこれを尊重しつつ、「自分づくり・生きがいがづくり・つながりづくり・まちづくり」があります。社会教育を推進していくにあたって、個人の活動や思いがやはり出発点になると思っています、「自分づくり」が大切だと思います。ただ、自分だけ一生懸命にやってもらうだけでも社会は生まれませんし、継続もしていくことは難しい。次のステップとして「生きがいがづくり」、それがつながる「つながりづくり」、最後に「まちづくり」になる、この1, 2, 3, 4の流れはいいと思います。基本理念のそれぞれの「づくり」が繋がっていて、それぞれに影響を及ぼし合う、どれが一番でもない、そういう循環というイメージを持ってもらうことも大事だと思っています。案として、基本理念の「<u>学びや活動の好循環による「自分づくり・生きがいがづくり・つながりづくり・つながりづくり・まちづくり」の推進</u>」よりも「<u>学びや活動による「自分づくり・生きがいがづくり・つながりづくり・まちづくり」の好循環の創出</u>」にして、この4つの「づくり」が上手くまわっていく状況を作っていくということが基本理念になるのはどうかと思います。</p>

	<p>14ページの図も、4つの「つくり」を円にして4つ並べ、矢印を付けて、どちらからもつながるといような、スタートは自分なので「自分づくり」が上にあっていると思います。これが動き出すと「まちづくり」に参加した後で自分も頑張ってみようと思うことがあってもいいと思いますし、「生きがいつくり」から始まってもいいと思いますし、どこが発点になってもいいです。今の感じだと「自分づくり」が、「生きがいつくり」が、「つながりづくり」が、「まちづくり」が、それぞれにということになってしまうといような意見が出そうな気がしました。どこから出発してもいい、それぞれがお互いに好循環をもたらすんだ、そういうことを図で見やすくした方がいいと思いました。</p> <p>自分は、自分がやりたいと思った時にやりたいことをやろうと思える状況にありますが、必ずしもそういう人ばかりではないので、そういう人が自分の人生の中や社会の中で、勉強したいと思うきっかけを作ったり、学んだり、自分・生きがい・つながり・まち、それぞれ相互に連携し合って循環があるということが分かる、思いが見える方がいいと思いました。</p>
事務局	<p>これまでは、この図（円）に循環を表す矢印を入れていましたが、どこからスタートしてもいい、双方向にもつながる、矢印がない方がいいのではというご意見をいただき、今回、循環を表す矢印を取っています。</p>
委員	<p>それなら、矢印を全部取るか、全部付けるかどちらかです。真ん中の矢印も必要ないです。「自分づくり」から「生きがいつくり」へ、「生きがいつくり」から「まちづくり」へ行って欲しい。全部の箇所矢印を付けると図がうるさくなりますね。</p>
事務局	<p>前回の会議で、「つながりづくり」から「生きがいつくり」にも、双方向にも行くというご意見がありましたので、そのつながりを表すため、真ん中に矢印を入れました。</p>
委員	<p>見やすくなっていますが、見やすいだけでいいのでしょうか。</p>
事務局	<p>見やすいことと、誤解を招かないようにとの視点で、この図をお示ししています。</p>
委員	<p>先ほどおっしゃった「好循環の創出」という表現はいいと思います。4つの「つくり」の推進と書くから、4つの「つくり」がどう違うのか説明をしないといけない。「つながりづくり」と「まちづくり」と似ていますし、似たようなことを書き分けているので、「好循環を創出する」とあっさり書けばいいと思います。</p>
委員	<p>やりだすと結局どこもつながっていて、どこから始めてもいいし、それは人それぞれです。この基本理念の書き方だと、それぞれ頑張ってくださいという感じになってしまい、実際はそうではないということを手く表現しないと。</p>
議長	<p>「循環」ですとサイクルをイメージさせ、まわったり、順序がありそうなイメージを与えます。それを無くすためには、言葉としては「連関」がありますが、連関は関わり合っているというだけの話ですので、順位性もなく、矢印という概念もない。それぞれが密接に関わり合っていて、区別もできないといような感じです。連関ですと少し訴えかける言葉としては弱いです。</p>
委員	<p>「連関」は聞いたことがありませんので、理念としてはふさわしくないと思います。</p> <p>「好循環」というのを理念の中にうたっていただいているので、これを上手く使うのがいいと思います。4つの「つくりを推進」という表現は、行政からおりてきた感じがします。どこから始まってもいいということが少し伝わるような表現がいいと思います。</p>

議長	「好循環の創出」という表現で何か誤解が生じることがあるのでしょうか。
委員	4つの方針があって、自分が一番興味のあるところから読み始めてもらいたい、一つ目から読まないといけないということではないです、ということが理念としてまずはじめにあるほうがいいと思います。
議長	行政計画ですので「推進」ととめたほうがいいのでしょうか。行政として推進する役割を担うという意味合いだと想像はします。「好循環を創出する」ことが行政として目指すところとするかどうか、そこがじっくりくれば、そういう置き換えもいいかと思います。
委員	「創出」は、創り出すということで、今思いついた言葉ですので、それが適切かどうかはわかりません。「推進」で終わりではなく4つの「つくり」の好循環が目指すところにあるという表現にするのがいいと思いました。「学びの好循環による」という「好循環」が先にあるのがよくわかりません。
議長	先ほどのご指摘とも関連するかもしれませんが、行政計画としてどちらがすわりがいいかということですね。
委員	次のページを読んでもらうために、伝わるかどうかです。
委員	「推進と好循環の創出」はどうですか。確かに「自分づくり」は推進したほうがいいです。
事務局	行政として「好循環を創出する」ことを目的とするかどうかです。
議長	「創出並びに推進」は創って回していくということで、ご指摘はよくわかります。「好循環」が先にあるよりは、「好循環を創出する」が流れとしては分かるということは共感できます。好循環が前提になっているというところですが、行政計画として書くときに「推進」のほうが上手くいくのではと思っています。この点は、もう少し考えさせてください。
議長	続いて、第4章について、事務局より説明をお願いします。
事務局	《事務局説明》 資料1「豊岡市社会教育基本計画（案）」第4章について
議長	19ページ「期待する役割」として、行政は、地域住民、地域や団体などに次のことを望んでいます、期待していますという意味合いで「望まれます」「期待されます」という書き方をしていますが、いかがでしょうか。
委員	「望まれます」と「期待されます」はどういう使い分けですか。自分の感覚ですと「望まれます」というのは、「自分はそういう気持ちでいるので、あなたもそういう気持ちになってくださいね」ということ。「期待されます」というのは「私は反対だけれども世間一般からみたらこうだよね」ということだと思うんですけど。使い分けを聞きたいです。
事務局	この表現については、個人や個別に対しては「望まれます」とし、さらにそれが他に広がっていく、つながっていくというところは「期待します」としました。この表現については委員の皆様のご意見を伺いたいです。スポーツ推進計画や多文化共生推進プランでもこのような書き方をしていますので参考にしています。
議長	読み手として、どういうご理解をされたかというご意見を頂けますと参考になります。
委員	「地域住民の役割」の3つ目「 <u>生かす</u> ことが期待されます」ではなく「 <u>生かされる</u> ことが期待されます」のほうがいいと思いました。説明を受けないとわかりにくいというのが懸念されます。

議長	決定的な決め手になるということではないと思いますが、ご意見を伺えればありがたいです。「学校」が言い切りになっているのは、学校行政だからということですね。
委員	23ページ「障害者福祉計画」では、「がっせえアート展」「くすの木学校」「青い鳥学級」と事業が書いてあり、課題として「参加者の減少」や「スタッフの確保」とあります。ここに書かれているのは障害者施策の一部ですが、これらの事業をこれからもやり続けるのがいいかどうか、他の施策と関連付けて必要性を検討したり、今までどおりでやっていますが足りません、それでいいのかと。これは今やっていること、現状を書いているだけなのか、それともこれからどうしていくのが書いてあるのか。
事務局	それぞれの計画・プラン等でやっていく施策・取組等の中から、社会教育に関連するものを抜粋して記載しています。今やっていることを振り返り、これからどうするかについては、それぞれの計画等の中での検討事項になります。
議長	現状このような施策を行っているというところでの整理です。
委員	22ページ「地域コミュニティビジョン」の内容は違和感があります。コミュニティは4つの活動をしますが、コミュニティでいうところの「人づくり」のところを取り出して、4つに分けて書いていただいていると思います。コミュニティがやっていること自体がすべてこの理念に書いてある「自分づくり・生きがいがづくり・つながりづくり・まちづくり」にもなることをやっていると理解しています。一つの事業やイベントを取り出してというのは違うのではと感じています。もともと公民館から始まっていますので、こういう部分が社会教育にあっているという感じもします。コミュニティがあまりにも生涯学習のところから一歩も出ないような体制でしたので、コミュニティとして地域の問題をやっているということになりました。活動全部を社会教育的なものだという視点でみたほうがいいと思います。
事務局	22ページに記載しているように、行政は支援が大きな役割になっていて、各コミュニティ組織で多くの取組を行っていただいています。各コミュニティ組織が具体的にどのようなことをやっているか分かるように、具体の取組を書かせていただきました。
委員	11ページ「地域コミュニティの現状」に書いてある4つの重点機能を決めてやってもらっているということを重複しても書くほうがいいと思います。 実際、コミュニティは、持続可能なのか、人材育成の面、役員のなり手、どこの分野でもそうだが特に役員のなり手というのはどこも困っていると思います。最初は、わりと熱意のある人たちがやっていたので、何とかスタートできていますが、今後続いていくのかとなったら、どんな活動をしていったらつながっていくのか、そこは気になっているところで、実際に各コミュニティ単位ではなかなか難しいです。こういうところこそ行政が、コミュニティ政策担当課が、社会教育が後押しするのかわかりませんが、担い手になる人を作っていくということが一番行政に求められるところではないかと思います。あとのことは全部住民に丸投げするわけですので、それをやっていけるような体制づくりを行政がやるというか、そんな理解をしています。
議長	コミュニティ組織の運営の実態は、各コミュニティでそれぞれのコミュニティプランを役員会を中心に作っていて、それに基づいて活動が行われているという理解でよろしいでしょうか。
委員	そうです。「地域コミュニティビジョン」はありますが、それぞれ違うことをしてもいいというようなことになっていて予算は付きます。ただ、それだけでは無理です

	<p>ので、実際には中間支援組織が行政と一緒に各コミュニティ組織に入って運営を支援したり、今の人たちに対する研修会は行政が行っていると思います。次に続く人々を育てるとか、自分たちのことは自分たちで解決していこうという住民を育てていくというところは誰がするのかというところです。行政の役割として入れていただけるとありがたいと思います。</p>
次長	<p>「地域コミュニティビジョン」に書かれていれば、この計画に入れなくてもいいと思います。</p>
事務局	<p>「地域コミュニティビジョン」に記載されていると思いますので、内容については所管課に確認します。</p>
委員	<p>22ページ「地域コミュニティビジョン」に、コミュニティの特徴的な取組が記載されていますが、書きすぎてあるように思います。社会教育基本計画とするならば、地域が特定されるような、個別のことは除いて書くほうがいいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>各コミュニティ組織での取組を記載するかどうかのところはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>11ページ2段落目にある「あり方方針では、地域振興・地域福祉・地域防災・人づくりの4つの分野」を少し書くくらいにとどめたいかがでしょうか。</p>
議長	<p>記載するとすればですね。22ページの特徴的な取組の書き方は、4つの「つくり」を理念として掲げましたので、おそらく個別計画で動いているところは、「自分づくり」「生きがいつくり」「つながりづくり」「まちづくり」という意識で書かれていませんので、その4つの「つくり」で整理して書いておけば、次期改訂時に参考にしながらと思い、私としては助言をしたつもりでした。ここだけ突出して書いていると違和感を持ちますし、個別の固有名詞が出ていて、他の計画のところがこういう書き方ができないのであれば、ここだけ書くというのもし少し違和感を持たせてしまうところがありますね。</p>
委員	<p>実際に「地域福祉」「地域防災」まで住民に担ってもらいましょうと言っているわけです。大変なことです。行政が仕事としてするのはではなく、できる範囲ですが、そこにはものすごく教育的な力とかをつぎ込まないと、やっってくださいと丸投げですかと。いかに大変なことを住民に任せようとしているのか。そういうことをここにくみ取ってあげて欲しい。そのために何かをしていかないと、行政が何ができるのかとか、どこかが考えていただけたらと思います。もちろん連携してやる、丸投げではなくて、ある程度連携してやることも必要だとは思いますが。</p>
議長	<p>行政とコミュニティとの役割、もちろん重なる部分もありますが、言葉にすればするほど、それはうちの仕事ではないというような分断が起きてしまわないか、難しいところです。</p>
委員	<p>コミュニティ政策担当課では、うちの仕事ではないというようなことは言わないです。全面的にサポートするつもりでいると思います。サポートはどんなことか聞き取っていただいたら書けるような気がします。</p>
委員	<p>この計画案を見て、各コミュニティはいろんなことをやっているんだと改めて思いました。自分の地域では、「地域福祉」、「地域防災」、「文化」と3つの部会を立ててやっています。来年度に向けて、福祉の面で、高齢化となっている地域がありますので、何とかそこの方々の支援、買い物支援や困っていること、草取りとか、そういったことに目を向けようとされている地域福祉部会の方々がいます。一地域だけですが、今回計画を立ててみようと思っていますが、知識がない、助けてもらうところはない、費用はどうするのかと問題は出てきています。地域でそれぞれやっていることは違い、役員が必死になってやっているけれど、参加者を募っても参加者</p>

	<p>が本当に少なく、役員が声をかけた人くらいしか参加がない。自分の地域の事業には行かなくても他の地域がやっている事業には行くこともあります。見えないところを一生懸命やっている部分もあります。見えることだけではないので。行政はこういう手助けがありますよというようなことや方法を書いていただく方がコミュニティ自身は動きやすいのかなと思いました。</p>
委員	<p>福祉をやろうという意欲のある人がいて、知識があつて、周りに人がいて、条件がそろってできます。やっぺいこうという人も育てないといけませんし、そういう人たちが孤立して、勝手にやっぺらいいというような、それも悲しい。それを支えたり、理解したり、一緒にやっぺいこうという人も増やさないといけない。ここは待っていても、放っておいても、やっぺらからと成果が上がるかどうかわかりませんが、教育とかそういう力がある分野ではないかという気がします。</p>
議長	<p>「地域コミュニティビジョン」の中でより具体的に行政としての役割を書くことになりますので、社会教育基本計画として、書くのかどうか、書く場合どこにどう書くのかというところがあります。</p>
委員	<p>コミュニティでは、「人づくり・生きがいくくり・つながりづくり・まちづくり」を基準に運営をしようとはしています。</p>
委員	<p>ここで書くのは、あくまでもそれぞれの計画等の紹介という観点ですので、実情は分かりますが、ここでは書けないと思います。この書きぶりをどうしましょうかというのが今のテーマです。</p>
委員	<p>どこかに「自分のことは自分たちで解決する人々を増やす」、「みんなで地域を支えていくような雰囲気醸成」、そういうのは欲しいと思います。</p>
議長	<p>19ページ「期待される役割」に少し書き込むしかないかと思っています。</p>
委員	<p>20ページ「具体的な取組」が今やっていることの紹介なら、19ページに行政の役割を書かないと、読んでいてどこにもないと思いました。</p>
事務局	<p>前回、行政の役割は最初を書くほうがいいというご意見がありましたので、「期待される役割」の冒頭に行政の役割を書いています。</p>
委員	<p>行政の役割を最初に書いているということですが、読まれていないということです。読みやすい書き方に工夫された方がいいと思います。</p>
事務局	<p>19ページ「期待される役割」のタイトルを「行政の役割」と変えた方がいいということでしょうか。</p>
委員	<p>行政も括弧【】付けにして文書を書き直されるか、他と同じように括弧を付けて同じ並びにするか、括弧をすべて取るかです。行政だけが違うので、一番大事なところを見落としてしまう可能性があります。</p> <p>「1 期待される役割」ですと、ぱっと見て何かわからない。例えば「1 それぞれに期待される役割」とするか、次の「2 具体的な取組」も何が連なっているのかわからないので「2 関連分野の具体的な取組」とするなど、このあと何が書いてあるのか分かるようにした方がいいと思います。</p> <p>22ページ「地域コミュニティビジョン」の内容は、ここだけ1ページ割いていて違和感があります。違和感の理由は皆さんのご意見でよくわかりました。行政は、理念と支援の内容、施設の維持管理を行っているという事実だけを書き、コミュニティの事例も含めて書くなら、事例は文字を小さくしたり括弧付きで表現する、本文とは違うアレンジにされるのがいいと思います。具体的な名称は書かずいろんな事例を紹介するのがいいと思います。</p>

議長	<p>今提案のありましたタイトルは検討ください。19ページ「具体的な役割」の行政の役割は、括弧【】を付けるか文書で表現するか、誤解を生まないように、行政の役割が書かれていないというようなことにならないようにお願いします。</p> <p>22ページ「地域コミュニティビジョン」の内容は、先ほど委員がおっしゃったような事例の紹介の仕方もありますが、他の計画等に合わせる方がすっきりする気がしますので、その方向で調整してください。</p>
事務局	<p>皆様から頂いたご意見や現状も踏まえて、所管課と記載する内容を精査させていただきます。</p>
議長	<p>予定時間を過ぎておりますので、次に進みます。第5章について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>《事務局説明》 資料1「豊岡市社会教育基本計画（案）」第5章について</p>
議長	<p>推進体制についてですが、ご意見等ございますでしょうか。</p>
委員	<p>25 ページ「2 進行管理」にあります「毎年度、進捗状況の把握に努め」とは具体的にどんなことを考えておられますか。</p>
事務局	<p>現時点では、4つの方針「自分づくり・生きがいくくり・つながりづくり・まちづくり」の点で、各課が行っている施策や取組を振り返り、評価いただき、こちらで把握させていただくことを考えています。</p>
委員	<p>「翌年度以降の取組に反映させていきます」とありますが、各個別計画を作られた課に、違いますというゆな指導をするというような意味でしょうか。</p>
委員	<p>指導をしないなら、把握しなくてもいいのでは。</p>
事務局	<p>違うというような指導をするということではないです。</p>
次長	<p>それぞれの計画等に基づいて、各部署は取組等を行っていますので、後で策定する社会教育基本計画に沿っていないから、違いますというようなことはなかなか難しいと思います。次の計画の見直しの際には反映をさせていただく必要はあるかと思いますが、毎年度の計画の推進については少し難しいところもあります。</p>
事務局	<p>今すぐ計画の見直しはできませんので、今の計画への反映は難しいとは思いますが、毎年度実施している事業や取組には取り入れていただくことは可能かと考えています。</p>
委員	<p>「把握に努めて、それぞれの個別計画の次期改訂の際に反映させていきます」でいかがかと思いますがどうでしょうか。</p>
議長	<p>「改訂に反映させるために、年度ごとの情報は収集しておきます」ということでしょうか。</p>
事務局	<p>それぞれの課が行っている取組等の内容を把握ができませんので、こちらは計画を作っただけとなってしまいます。取組状況等の把握が必要かと考えています。</p>
委員	<p>4 ページ「計画の期間」で、「関連諸計画との整合を図る必要があるため、長期的な目標を持ち、この5か年は本計画の基盤整備のための期間とし」と書いてありますので、あくまでも長期的な視点に立って、他の計画に影響を及ぼしていこうというくらいのスタンスで、毎年とか、進行管理とかは入れなくてもいいと思います。</p>
事務局	<p>推進会議（仮称）の設置を考えていますが、そこの意義がどうなるのかということも出てきます。</p> <p>推進会議（仮称）の大まかなイメージは、それぞれの計画の改訂は順次行われ、4つの「つくり」の方針を取り入れて頂きますが、できるところは取組や事業にも取り</p>

	入れている、できていないなどの情報を社会教育課が共有しながら、推進会議（仮称）の場でご意見を頂くような流れをイメージしておりました
委員	庁内でそういう場はあるのでしょうか。
事務局	25 ページ「庁内推進体制の強化」を書いています。庁内で情報共有をする場を考えています。今回、庁内検討部会を設けましたように、それに続くようなものと考えています。
議長	「推進会議（仮称）を設置します」とは書いていないんですね。
事務局	「設置を検討します」としています。前回の会議でもお話ししましたが、計画を作ただけでいいのか、何らかの振り返りの場があるのではないかとということで設置を考えています。
委員	4つの方針でどこまで進んだというような成果、効果測定のようなものがあって、各課が資料を作成するという感じでしょうか。
事務局	効果測定については、単に参加者が増えたというような数値だけでは測れない部分も多くあります。また、数値目標を設定していない計画が多くありますので、どのように評価するのかは今後検討が必要です。
委員	推進会議（仮称）は、この社会教育基本計画ができていこうとしているのか、他の計画も含めてやっていこうとしているのか、そのあたりはいかがでしょうか。
事務局	この計画案の中で、各方針の施策をいくつか書いていますが、社会教育課だけでやること、できることではありませんので、社会教育を含む他の課、計画等でもやっていくことになります。
委員	市全体の社会教育が含まれている計画、事業等の全体の進行管理ということですね。
事務局	この計画の施策には、他の課の事業や施策も入ってきますので、含めた中と考えています。
議長	基本的には、それぞれの計画の担当課から自己評価のような書類が集まってきて、それを推進会議（仮称）で意見を共有するというようなイメージですね。
委員	やはり上位計画になりますね。
委員	まとまった報告だけが出てくる場だと思いますが、こことここがやっていることが一緒とか、人もない中でこれをやる意味があるのかとか、難しいとか、すり合わせて全体を調整するような機能はあるのでしょうか。
事務局	社会教育課が聞き取り、取りまとめることになります。今おっしゃったような、すり合わせと言いますか意見交換となると、まずは庁内検討部会のような場でやっていくことになると思います。
議長	イメージとしては、指導したりというよりフィードバックを上手く行い、情報をつなぎ合わせるような機能があって、それをお返りする、連携することでもっと上手くいくというようなことがあれば、良好に進むというイメージでしょうか。
委員	事務局の提案どおり進行管理をされて、次期計画の改訂時に上位計画と名乗り、上位計画的な立場で進行管理をすれば、毎年度してもいいと思いますが、やっていることは上位計画の立場として進行管理をやっていくので、既成事実を積み重ねるような形でもいいと思います。
次長	最終的にはそれを目指していくべきだと思いますが、計画をスタートしてすぐそれができるかという課題もあります。
委員	後出しになりますが、上位計画としてもいいと思います。

委員	事実を積み重ねて、改訂時に上位計画としてくださいという感じでいいのではないのでしょうか。
議長	書き込むかどうかというところがあります。表現については、指導的というよりはつなぐ役割をしながらというところでしょうか、「しっかりと情報収集と管理をしていきます」でいいのではないのでしょうか。
議長	まだ、ご意見があるかもしれませんが、予定時間を過ぎておりますので、これで協議事項は終えさせていただきます。いただきましたご意見を踏まえた作業につきましては、委員長、副委員長、事務局で調整をさせていただきますのでご了解ください。 それでは、進行を事務局へお返しします。
4 事務連絡	
5 閉会	